



台湾ベースボールフェス 迫力あるプレーに歓声

台湾社会人野球チームと徳島インディゴソックスとの国際親善試合などを行う「台湾ベースボールフェスティバル」を6月8日から10日にJAアグリあなんスタジアムなどで開催し、約1,500人の観客が、国際スポーツとくしま親善大使の張 泰山選手などに大きな声援を送りました。東京オリンピックをめざす台湾野球チームの直前キャンプ地誘致に向けた一環として実施。施設を視察した台湾野球協会の林 華偉副理事長に「施設は問題ない。キャンプ地として真剣に検討するよう伝える」と高く評価

していただきました。また、元プロ野球選手でオリンピック金メダリストの広澤克実さんによる野球教室や、台湾文化に触れてもらう催しなどを行いました。(写真左から、林 華偉副理事長、飯泉知事、張 泰山選手、岩浅市長、徳島インディゴソックスの南 啓介球団代表)

演奏会出演に向け 竹で楽器作り

竹で楽器を作るワークショップが6月9日に文化会館であり、参加者7人が竹の切り口をたたいて鳴らす楽器「マウイ」作りに取り組みました。市特産の竹を生かして地域振興を図ろうと文化会館が主催。竹楽器を演奏する団体「東京楽竹団」の団員らから指導を受け、竹の長さをノコギリやヤスリを使って調整し、音程を合わせました。参加者は、9月17日(例)に夢ホールで開かれる東京楽竹団の演奏会に出演し、竹楽器での演奏を披露します。



使って便利 電子図書館 利用方法説明会を開催

「阿南市電子図書館」の利用方法説明会が、6月3日に那賀川図書館で開催されました。電子図書館は、図書館に足を運ばなくてもインターネット環境があれば、24時間いつでもどこからでも電子書籍を借りることができ、借りた書籍は貸出期限がくると自動的に返却されます。説明会では、パソコンやスマートフォンを使って電子図書館の使い方を解説しました。阿南市電子図書館では5,580冊の電子図書が借りられます。(6月6日現在)



5・7・5で 楽しい言葉遊び NHK番組「俳句王国がゆく」公開収録

各地を巡り俳句を使って楽しい言葉遊びをする番組「俳句王国がゆく」の公開収録が6月16日に文化会館で行われました。タレントのU字工事の司会のもと、俳人の夏井いつきさんや本市出身で野球解説者の水野雄仁さんなどが当意即妙の俳句を披露。詰め掛けた約600人の観覧者は、楽しい一時を過ごしました。収録された内容は、NHK Eテレで7月15日(日)14:30～15:29放送予定です。ぜひ、ご覧ください。



新しい働き方を提案 モデル施設が完成

サテライトオフィス誘致のモデル施設「あなんスマート・ワークオフィス」が科学センター敷地内に完成しました。「地方でのシェアオフィス」としての利用を提案することで、本市へのサテライトオフィス誘致拡大をめざします。オフィスには会議室、コワーキングスペースのほか、テラスが設けられています。落成記念式典が5月19日に現地で行われ、関係者約100人が参加。テープカットなどが行われ、施設の門出を祝いました。

ハンセン病を正しく理解 交流会を開催

ハンセン病回復者との交流会が5月30日にひまわり会館で開催され、約100人が参加しハンセン病への理解を深めました。国立療養所大島青松園(高松市)で暮らす県出身の回復者4人が自らの体験を語った後、現在の生活等について、参加者からの質問に答えるなど交流しました。県ハンセン病支援協会会長の十川勝幸さんは「ハンセン病は感染力の弱い病気で完治できる。回復者が自然体で交流できる社会が急がれている」と訴えました。



町の文化や自然を記録 写真集を発刊

新野町の伝統文化や自然景観などを撮影した写真集「ふるさと新野」を、一ノ宮敬治さん(新野町・77歳)が製作し発刊しました。写真集はカラー60ページで、一ノ宮さんが平成27年から撮りためた約350枚の写真に掲載した力作。150冊製作し、町内の中学生や幼稚園児など子どもたちに配布しました。一ノ宮さんは「生まれ育った町の姿を記録に残すことができた」と感無量のように。写真集は、新野公民館でご覧いただけます。

YMCA海洋センター 開設50周年を記念

YMCA阿南国際海洋センターで、開設50周年を記念した式典が5月12日に現地で開催され、関係者など約200人が節目を祝いました。同センターは、昭和43年に日本で最初の海洋型教育キャンプ場として開設され、80万人を超える利用者が訪れ、ヨットやカヌーなどを通して海への理解や海に親しむ心を育てています。式典で、大阪YMCA総主事の小川健一郎さんは、「これからも学び合い、成長し合う施設でありたい」とあいさつされました。

